

役員所感

直前理事長 佐藤 利彦

昨年度はスローガンとして「勇気ある決断と確かな実行新たな半世紀への挑戦！」を掲げ、創立51年目を代表理事として駆け抜けました。その経験からあらためて強く感じ得たことは、皆と議論した中で最善の結論を導き出し、勇気ある決断と確かな実行が社会を動かす原動力となることです。郷土の永続的な発展「地方創生」を実現させるため、凛とした青年が持ち得る発想力と行動力を発揮する人材の育成と組織の強化が必要不可欠です。

円滑な組織運営の遂行のため、前任の理事長の職務である今年度に対する必要な助言を行うこと、特別会員として現役会員に対する配慮を持ち合わせたバランス感覚を念頭に一年従事します。理事長という職を遂行した経験をもとに、大嶋理事長のサポートをすることはもちろん、他の会員には公益法人の一員としての役割を理解させ、プライドを持って活動に参画する姿勢を向上させます。そのために、気づきを得る機会の創出のため、日本J C本会、地区協議会、ブロック協議会の各種大会や事業へ率先して参加することの意義を伝え、権益として捉える重要性を説きます。また、先輩諸兄から受継ぐ英知と勇気と情熱に基づき地域の活性化に寄与した功績を伝え、伝統を受け継ぐ人材を育成します。さらには、大嶋理事長が掲げる想いを上越J Cが一丸となり遂行するため、役員会議や理事会議などLOMの諸会議では、青年の自由な発想をもとに構築され地域創生に繋がる事業かを見極め、厳しくも優しい助言を心がけます。また、他の団体や行政などへの関わりの重要性を説き、より社会からの負託と信頼を得られる公益法人としての組織を強化させます。

オリジナリティある地域の発展のため、一人ひとりが使命感と責任感を持って高みを目指し成長し、プライドを持って勇気ある決断をするJAYCEEと確かな実行力を持った青年会議所が会員一丸となって運動することが、明るく豊かな社会の第一歩と確信します。